二階堂行政は、貴族藤原氏の一員で、12世紀から13世紀にかけて活躍した。彼は最初、鎌倉将軍家（1147–1199）と関係があり、彼の家族関係で鎌倉幕府の役人になった。行政はかなりの政治的影響力を持ち、1201年から1204年の間に彼はここ金華山に稲葉山城として知られる城塞を建設した。（当時金華山は稲葉山として知られていた）。その城塞はやがて岐阜城として再建される。